

授業科目

成人慢性期看護学

担当教員名 手島 美子、北島 昌樹、金子 佳世	対象学年	2	対象学科	看護
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○	○	

授業の概要

慢性疾患の特性および慢性疾患を抱えて生きる成人の特徴を学ぶ。長期的な経過をたどる対象者が生活の変化と療養とのバランスを保ちつつ最良な健康状態を継続していくことができるための理論と方法について学ぶ。

授業の目的

生活を再構築しながら病いとともに生きる成人に対する看護のあり方について、慢性期看護に有用な理論を理解し活用できることを目的とする。

学習目標

- 1.慢性疾患の特徴および診断・治療の特徴を説明できる。
- 2.リハビリテーション看護の特徴を理解し、障害のある人の生活を支援する看護の特徴について説明できる。
- 3.成人看護に必要な理論について説明できる。
- 4.慢性疾患を抱えて生きる対象者への看護を考えることができる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	慢性期看護とは	講義	
2	病みの軌跡理論	講義	
3	セルフマネジメントとは	講義	
4~5	リハビリテーション看護とは	講義	
6~8	セルフマネジメント支援の実際	講義	

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	ナーシング・グラフィカ 成人看護学 3 セルフマネジメント	安酸史子、鈴木純恵、吉田澄枝	メディカ出版	2015年	3,000円	
	慢性疾患の病みの軌跡	黒江ゆり子	医学書院	1995年		
	リハビリテーションビジュアルブック	落合慈之	学研	2011年		
	慢性期看護論	鈴木志津枝	ヌーベルヒロカワ	2011年		
	成人教育の現代的実践 ペタゴジーからアンドラゴジーへ	マルカム・ノールズ著、堀薫夫・三輪建二監訳	鳳書房	2002年		
その他の資料						

評価方法

定期試験：90% ミニ課題レポート：10%

履修上の留意点

毎回、その日の授業内容に対する自己の考えを記述する時間を設ける。これを評価の一部とする。主体的に学習をすすめて欲しい。

オフィスアワー・連絡先

授業時に確認すること